

様式第 3 号（省令規定様式第 4）

土石の堆積に関する工事の許可申請書

※「記入の方法」は下部に記載しています。

① 宅地造成及び特定盛土等規制法 { 第12条第 1 項 第30条第 1 項 } の規定により、 許可を申請します。 ×年 ×月 ×日 盛岡市長 ×× ×× 様 ② 申請者 氏名 株式会社モリオカ 代表取締役社長 盛岡 太郎		③ ※手数料欄					
1 工 事 主 住 所 氏 名 (法 人 役 員 住 所 氏 名)	岩手県盛岡市●●町××番地 株式会社モリオカ 代表取締役社長 盛岡 太郎 (同住所 取締役 盛岡 二郎 同住所 取締役 盛岡 三郎)						
2 設 計 者 住 所 氏 名	岩手県盛岡市●●×番地 モリオカ設計事務所 玉山 一郎 ○						
3 工 事 施 行 者 住 所 氏 名	岩手県盛岡市●●×番地 有限会社モリオカ 代表取締役 内丸 二郎						
4 土 地 の 所 在 地 及 び 地 番 (代 表 地 点 の 緯 度 経 度)	岩手県盛岡市●●町×× 外×筆 (緯度: 39 度 ××分 ××秒、 経度: 141 度 ××分 ××秒)						
5 土 地 の 面 積	2,000.00 平方メートル						
6 工 事 の 目 的	建設発生土のストックヤード						
7 工 事 の 概 要	イ 土石の堆積の最大堆積高さ	3.00 メートル					
	ロ 土石の堆積を行う土地の面積	500.00 平方メートル					
	ハ 土石の堆積の最大堆積土量	1,500.00 立方メートル					
	ニ 土石の堆積を行う土地の最大勾配	0 度					
	ホ 勾配が10分の1を超える土地における堆積した土石の崩壊を防止するための措置	該当なし					
	ヘ 土石の堆積を行う土地における地盤の改良その他の必要な措置	・砂質土の敷き均し及び締固め ・浅層混合改良					
	ト 空地の設置	<table border="1"> <tr> <th>番 号</th> <th>空 地 の 幅</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td>4.00 メートル</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6.00 メートル</td> </tr> </table>	番 号	空 地 の 幅	1	4.00 メートル	2
番 号	空 地 の 幅						
1	4.00 メートル						
2	6.00 メートル						

チ	雨水その他の地表水を有効に排除する措置	素掘り側溝の設置 (W300×H300 程度)		①⑥
リ	堆積した土石の崩壊に伴う土砂の流出を防止する措置	該当なし		①⑦
ヌ	工事中の危害防止のための措置	立入禁止表示やロープ等により措置		①⑧
ル	その他の措置			①⑨
ヲ	工事着手予定年月日	×年	×月 ×日	
ワ	工事完了予定年月日	×年	×月 ×日	
カ	工程の概要	年間予定 搬入量：○m ³ 、搬出量：○m ³		①⑪
8	その他の必要な事項	××法による××許可申請中		①⑫
※受付欄		※決裁欄	※許可に当たって付した条件	※許可番号欄
年 月 日				年 月 日
第 号				第 号
係員氏名				係員氏名
〔注意〕 1 ※印のある欄は記入しないでください。 2 申請者、1 欄の工事主、2 欄の設計者又は3 欄の工事施行者が法人であるときは、氏名は、当該法人の名称及び代表者の氏名を記入してください。 3 1 欄の工事主が法人であるときは、工事主住所氏名のほか、当該法人の役員住所氏名を記入してください。 4 3 欄は、未定のときは、後で定まってから工事着手前に届け出てください。 5 4 欄は、代表地点の緯度及び経度を世界測地系に従って測量し、小数点以下第一位まで記入してください。 6 7 欄りは、鋼矢板等を設置するときは、当該鋼矢板等についてそれぞれ番号、種類、高さ及び延長を記入し、それ以外の措置を講ずるときは、措置の内容を記入してください。 7 8 欄は、土石の堆積に関する工事を施行することについて他の法令による許可、認可等を要する場合においてのみ、その許可、認可等の手続の状況を記入してください。				

記入の方法

- ① 【対象規定】 該当しない規定を抹消してください。

なお、盛土又は切土をする土地が2種類の規制区域に跨る場合には、手引P11に記載の取扱いを参照してください。

規定	内容
第12条第1項	宅地造成等工事規制区域内において行われる宅地造成等に関する工事
第30条第1項	特定盛土等規制区域内において行われる特定盛土等に関する工事

- ② 【申請者】 工事主が申請者となります。（工事主とは、工事の請負契約の注文者又は自ら工事をする者となります。）法人であるときは、法人の名称及び代表者の氏名を記入してください。
- ③ 【手数料】 記入は不要です。申請の際には、盛土又は切土をする土地の面積に応じた手数料（盛岡市収入証紙）が必要となります。
- ④ 【工事主住所氏名】 工事主が法人であるときは、工事主の住所氏名のほか、法人役員（法人の登記簿謄本（履歴事項全部証明書）に記載された取締役。また、登記簿謄本に記載されない、執行役又はこれらに準ずる者と同等以上の支配力を有する者がいる場合はその者を含む。）の住所氏名を記入してください。法人役員について記入欄に書ききれない場合は、「別紙のとおり」と記載し、別紙により記載いただいで構いません。
- ⑤ 【設計者住所氏名】 構台もしくは鋼矢板を設置する工事を含むときは、氏名の横に○印を付してください。
- ⑥ 【工事施行者住所氏名】 法人であるときは、法人の名称及び代表者の氏名を記入してください。やむを得ない理由により、申請時点で工事施行者が確定していない場合は、申請時は「未定」としてください。ただし、工事着手までに工事施行者の能力を証する書類を提出し、工事施行能力に係る審査を受ける必要があります。
- ⑦ 【土地の所在地及び地番】 所在地及び地番については、「5土地の面積」に記載する土地の地番を全て記載してください。（記入欄に書ききれない場合は、「外」と記載し、別紙により記載いただいで構いません。）
- また、緯度経度については、盛土・切土の高さが最大となる箇所を代表地点とし、緯度及び経度を世界測地系により記載してください。（座標確認方法：地理院地図など）
- ⑧ 【土地の面積】 工事をする土地及び工事に関連する土地（一体的に利用する土地）の面積を記載してください。
- ⑨ 【工事の目的】 土石の堆積が特定の工事に付随する場合には、その工事名と期間についても記載してください。
- （例）〇〇〇〇建設工事（〇年〇月〇日～ 〇年〇月〇日）に伴う土石の堆積
- ⑩ 【土石の堆積の最大堆積高さ】 土石の堆積を行う最大の高さを記載してください。
- ⑪ 【土石の堆積を行う土地の面積】 土石の堆積を行う最大の面積を記載してください。
- ⑫ 【土石の堆積の最大堆積土量】 土石の堆積を行う最大の土量を記載してください。
- ⑬ 【勾配が10分の1を超える土地における堆積した土石の崩壊を防止するための措置】 原地盤の勾配が1/10 を超える箇所への構台等の設置について記載してください。

⑭ 【土石の堆積を行う土地における地盤の改良その他の必要な措置】地表水等による地盤の緩み等が生じるおそれがある場合は、実施する地盤改良等の措置を記載してください。

⑮ 【空地の設置】平面図等で位置を確認できるよう番号を付し記載してください。数が多い場合には別紙としてください。

堆積する土石の最大高さ(H)	必要となる空地の幅	備考
5 m以下	Hを超える幅	空地を設けることができない場合は、⑰の措置の記載が必要になります。
5 m超	Hの2倍を超える幅	

⑯ 【雨水その他の地表水を有効に排除する措置】地表水を適切に排除するための側溝の設置等について記載してください。

⑰ 【堆積した土石の崩壊に伴う土砂の流出を防止する措置】必要な空地を設けることができない箇所に実施する鋼矢板の設置等の措置について記載してください。鋼矢板等を設置するときは、当該鋼矢板等について平面図等で位置を確認できるようそれぞれ番号を付し、種類、高さ及び延長を記入し、それ以外の措置を講ずるときは、措置の内容を記入してください。

⑱ 【工事中の危害防止のための措置】工事現場内の安全措置の他、関係者以外の立入防止措置等の実施の概要について記載してください。

⑲ 【その他の措置】他の欄に記載しているものの他、特筆すべき措置を実施する場合は記載してください。

⑳ 【工事着手・完了予定年月日】工事着手予定年月日から5年間を超える期間は認められません。

項目	記載例
工事着手予定年月日	「年月日」、「許可取得の翌日」など
工事完了予定年月日	「年月日」、「工事着手から5年間」など

㉑ 【工程の概要】工程の概要として、年間の搬入・搬出量等を記載してください。

㉒ 【その他必要な事項】土石の堆積に関する工事を施行することについて他の法令による許可、認可等を要する場合のみ、その許可、認可等の手続の状況を記入してください。